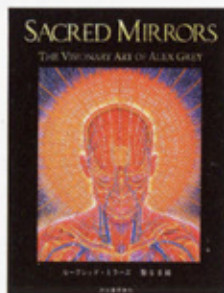




NYのCoSM。チャペルと言うだけにとっても神聖な場所だ。
 展示してあるアレックスの壁画はかなり大きいサイズのものだった。

実際に会ったアレックスは、
 とても丁寧で繊細な方だった。
 忙しいなか、時間を割いていただいたアレックス、
 パートナーのアリソンにとっても感謝しています。



「SACRED MIRRORS
 (セークレッド・ミラーズ 聖なる鏡)」
 お問い合わせ先：
 (株) FFJ/ フューチャーショップ AKA (担当桜井)
 TEL 03-3794-7791
 Eメール akura@d.email.ne.jp





ALEX GREY Interview in NY

アレックス・グレイ 現地インタビュー

聖なる鏡を求めて

CoSM (Chapel of Sacred Mirrors) は、
ニューヨークにある瞑想のための聖地。
ここにはアレックス・グレイの絵画シリーズ
「SACRED MIRRORS」をはじめ、
神秘的で際立った作品が展示されている。
6月22日、CoSMで行われたフルムーンパーティーに合わせて
ニューヨークへ飛んだ。
以前から憧れていたアレックスの原画を見ることができたうえ、
念願のアレックス・グレイへの取材が実現した。

アレックス・グレイ

Alex Grey

1953年米国オハイオ州生まれ。サイケデリックアート界の巨匠。
解離学、超心理、チベット密教を学び、
それらを独自のスタイルで
融合させたスピリチュアルで神秘的な作品を描いている。
NY在住。

取材・文・写真=松本英明

Interview & Photographs & Text by Hideaki Matsumoto

翻訳=T.Y.

Translation by T.Y.



祭壇にはサイババの写真や
チベット密教関係の品物や
花やヒンドゥーの神様なども
飾ってあった。

——高次元の光のビジョンを見るよ
うになったきっかけは何ですか？

アレックス 私の最初のLSD経
験は、アリソンが招いてくれた彼女
のアパートでのパーティーでした。
私は乳白光を放つ壁のトンネル内
にいて、暗闇から明るい光へと向っ
ていました。全ての極性は合体し、解
決されていたのです。

アリソンと私はその夜から一年ほ
ど付き合いましたが、LSDを使い
ながら我々は泉となり、他の生き物
や物体との光で繋がりそれを流した
していました。全ては激しく燃える
光のすじで構成されていて、出たり
入ったり、エネルギーを吸収したり
放出したりしていたのです。

——本当に絵に描いたように見える
のですか？

アレックス 私は私が持つイン

ナーヴィジョンを描こうとしています。
——「Chapel of Sacred Mirrors」と
いうタイトルは誰が考えたのですか？

アレックス アリソンが名を思いつき
ました。我々全員がお互いに聖なる鏡
に映し出された姿の反映なのです。私
は神聖な場所を創造し、個人がそれぞ
れの神性の反映を見ることができれば
と思いました。

——「TRANSFIGURATIONS」の日本
語版についてはどう考えていますか？

アレックス 私の最初のモノグラ
フ(ピクチャーブック)、「SACRED
MIRRORS」は私の良い友人である桜
井幸隆氏により日本語で出版されまし
た。

もちろん私は日本の出版社が
「TRANSFIGURATIONS」の日本
語版を出版してくれることを歓迎しま
す。

希望者はネイキッドでアレックスに写真を撮ってもらった。
その作品は8月から10月まで、
CoSMに隣接するMicroCoSMにて展示されている。

